

第11回 秋季講演会

溝口家と小堀家

～遠州所持の道具五種を起点として～

溝口家と小堀家の関係は、四代溝口重雄(1633-1708)と小堀遠州の三男十左衛門(1639-1704)のとき確認できます。重雄は小堀家の事情により遠州所持の道具五種を入手します。その後、十代溝口直諒(1799-1858)は、遠州茶道宗家八世小堀宗中正優(1786-1867)や白醉庵吉村観阿と茶の湯を通じて交流を持ち、合作の作品が現在も残されています。

本講演では、これまでの研究成果に加え、新出の資料も紹介しながら溝口家と小堀家、その後の江戸における両家と吉村観阿との交流についても明らかにしていきます。

講師

同志社大学研究開発推進機構
特任助手

宮武 慶之氏

日時

平成28年 10月 10日(月・祝)
午後1時～3時まで
(12時30分より受付)

会費

2,570円
(顕彰会会員は無料)

お申込

お電話/葉書/FAX/Emailにてご予約後、郵便振替にてお申込み頂けます。
(定員:100名先着順)

〈郵便振替〉口座番号 00190-5-770872 公益財団法人 小堀遠州顕彰会
通信欄に「秋季講演会チケット」とご記入下さい。

会場

江戸東京博物館 会議室

(住所) 東京都墨田区横網1-4-1
(交通) JR総武線両国駅西口徒歩3分
〃 東口徒歩7分
都営地下鉄大江戸線両国駅
A3・A4出口徒歩1分
(江戸東京博物館前)



お問い合わせ

公益財団法人小堀遠州顕彰会 〒162-0827 東京都新宿区若宮町26番地

TEL:03-3260-3551 FAX:03-3260-3510 Email: kenshokai@enshuryu.com